会 報 第45号

令和２年７月１８日
水 を 語 る 会
会長　眞柄　泰基

水を語る会

現在の会員数　一般会員141名　団体会員７団体　協力会員10名　（令和元年７月現在）

講演会の報告（第35回会員集会）

日時：令和２年２月８日(土)13時30分～15時50分
場所：日本水道会館７階会議室
講演：「今後のコンサルタントの役割について」
(①間山 一典様［㈱日水コン 代表取締役社長］)
(②村上 雅亮様［㈱NJS 代表取締役社長）
(③片石 謹也様 ［㈱東京設計事務所 代表取締役副社長］)

講演①では、間山講師の誕生年と会社の設立年が同年の昭和34年ということもあり、会社の歴史とご自身の経歴を振り返りつつ、「水コンサルタントのこれまでとこれから」についてご講演頂いた。日水コンの社是は昭和37年に制定され、「高度の技術を提供し、社會公共のために奉仕する。品格を高め、和衷協同の實をあげる。」というもの。第１条は、営利を第一にせず、公共性を社業にすると意。第２条は、２者一体となって社会に貢献するという意。今後も、この社是の今日的な意味を考えながら、公共性・公益性を誇りにしていきたいと講演を結んだ。

講演②では、村上講師は上下水道事業の発展と人材確保の観点から、上下水道事業を前向きに捉えるためのマインドセットと３つのドライブについてご講演頂いた。上下水道事業に働く３つのドライブとは、効率化のドライブ、負担のドライブ、ICT実装のドライブを指し、ＰＰＰ、財政負担の再検討、先端技術の適用について具体例を交えてご説明頂いた。今後、ＮＪＳは「水と環境のConsulting & Software」という企業コンセプトを下に、コンサルタント、インフラ管理、ＰＰＰ、海外の４つの円盤の編隊飛行で事業を推進すると披露頂いた。

講演③では、片石講師はご自身の経歴を振り返りつつ、会社概要、CDP(Carbon Disclosure Project)スコアリングパートナーの紹介、コンサルタント経営の今後のポイント、PPP関連業務のこれからについてご講演頂いた。コンサルタント経営の今後のポイントとして、人材開発・研修などを含む研究開発、専門家などを配置した品質管理体制、ワークライフバランス促進に向けた働き方改革などを挙げられていた。

定例幹事会の報告

日時：令和２年５月23日(土)　13時～14時
場所：Web会議で実施
議題：1. 総会の開催方法及び審議方法　2. 今後の集会の開催スケジュール　3. 会費の徴収　4. 講演集の作成　5. その他

編集後記

新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言が解除されましたが、感染終息の見通しが立たないため、総会及び特別講演は開催中止となりました。今後の本会活動については、『新しい日常』を想定した開催形式で、継続していきたいと考えておりますので、引き続き「水を語る会」の活動に、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。　　（幹事　中園隼人）

◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。詳しくはホームページをご覧ください。
→ http://mizuwokatarukai.org /